

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (19 : 00 ~20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

出席メンバー 秋山・尾藤・森實・大西佐・大西香・由藤・佐藤
吉岡・矢野・石川眞・守谷・三好・兵藤・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	10人	0人	0人	11人

前回の改善計画	職員会、申し送りノートを活用し、職員内で同じ支援となる様、利用者や家族の情報を得る。
前回の改善計画に対する取組み結果	申し送りノートにより大まかな情報を得ることはできているが、本人のこだわりや身体の状態の変化がある時の対応が共有できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	11	0	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	11	2	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	11	0	1	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	9	4	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用開始前にケアマネが作成したらしきシート(自分シート)にて把握。本人、家族が必要としている支援になるよう努めている。送迎時には家族から情報が得られる様積極的に声掛けを行っている。気付きや情報は個別記録に記入している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人のこだわりや身体状況の変化がある時には職員間で情報共有ができておらず、対応に個人差があり家族の要望や個人の思いを受け止められず、十分な支援ができていないのではないかとと思う。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 日々の関わり合いの中から得た情報が正しく伝わらず、又職員の思い込みから支援内容にバラつきが生じているのではないかと感じる。 職員間でケアの統一を図ると共に、議事録にして再確認する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (19 : 00 ~20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

出席メンバー 秋山・尾藤・森實・大西佐・大西香・由藤・佐藤
吉岡・矢野・石川眞・守谷・三好・兵藤・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	3人	0人	11人

前回の改善計画	「～したい」の実現に対しては理解できているが、具体的な方法について会話や行動から日々の関わり合い方を見つける。
前回の改善計画に対する取組み結果	声掛けはできているが、それだけで積極的に参加して頂けない方もいる。対応に工夫が必要ではないか。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	8	5	1	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	11	3	1	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	8	6	1	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	6	5	1	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 毎月職員が担当の利用者の方にプランを作成。「～したい」の目標に対し、具体的な提案が出来ているように思う。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 具体的にプランを立ててはいるが、職員によっては消極的な態度となり、関わり合い方に違いが生じることがある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員の個別ケアに対する知識が乏しい為、お一人お一人に向き合う姿勢に問題があるのではないかと感じる。 研修・勉強会等に参加し、自身のスキルアップを図る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (19 : 00 ~20 : 30)

3. 日常生活の支援

出席メンバー 秋山・尾藤・森實・大西佐・大西香・由藤・佐藤
吉岡・矢野・石川眞・守谷・三好・兵藤・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	3人	0人	11人

前回の改善計画	
「～したい」実現の為に何を行ったか、またその時の様子を個別記録に記載する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
本人の思いを的確に言葉に表していないように感じる。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	9	4	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	9	0	1	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	7	1	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	8	1	1	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	10	1	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
食事、入浴、排泄状況を日々の記録をもとに職員間で把握しており、それに基づき本人に合わせた介助や対応を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員間で共有する様努めているが、申し送り事項が一部職員のみになっていたり、申し送りノートや記録に目を通せていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
記録内容を正しく理解できていないのと、職員間で申し送り事項が会話のみで終わってしまっている時があるのではないか。 申し送りノートに確実に目を通し、各自が確認印を押す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

出席メンバー 秋山・尾藤・森實・大西佐・大西香・由藤・佐藤
吉岡・矢野・石川眞・守谷・三好・兵藤・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	4人	2人	10人

前回の改善計画	本人を取り巻く地域資源マップの作成
前回の改善計画に対する取組み結果	家族からの情報を的確に掴み取ることができず、地域との関係性が十分掴み取れていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	12	1	2	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	5	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	7	6	2	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	7	5	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族より馴染みの店、地域での暮らしを聞き取り、地域行事に参加することで他者との交流を深めている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域との関わり合いがごく一部のみとなっており、多くの情報を得る手段とはなっていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 体力面や家族の事情で、地域の方々と次第に疎遠になってきているのではないかとと思う。 恒例となっている地域行事に出来るだけ参加し、地域との関わり合いを深める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

出席メンバー 秋山・尾藤・森實・大西佐・大西香・由藤・佐藤
吉岡・矢野・石川眞・守谷・三好・兵藤・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	4人	1人	11人

前回の改善計画
地域資源の活用として馴染みの店や趣味を通して交流を図り、認知症の理解を深める。

前回の改善計画に対する取組み結果
身体面を考慮する中で、本人の状態に合わせた支援となっていない事もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	11	4	0	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	8	0	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	12	1	1	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	12	0	1	16

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
家族の緊急の要望に的確な対応をしている。
地域サロンとの交流、行事の際の準備、門松作り、クロッケー参加、また隣接の特養に小学校・幼稚園慰問の折には一緒に楽しめるよう支援している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
身体機能の低下から外へ出かけることが困難になりつつあり、対応に個人差がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
個々の支援に対して「今楽しめること」に対しての工夫が足りないのではないかと感じる。
山田井の郷文化作品展への案内や、小学生・ボランティア団体の慰問を通して触れ合ったり、個々での楽しみ(クロッケー、パッチワーク等)の継続支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

6. 連携・協働

出席メンバー 秋山・尾藤・森實・大西佐・大西香・由藤・佐藤
吉岡・矢野・石川眞・守谷・三好・兵藤・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	2人	1人	5人	11人

前回の改善計画	他職種が集まる研修に参加し、交流する機会を持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	出来る限り病院開催の研修会、又認知症の勉強会では他職種と交流を図っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	5	1	7	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	2	10	16
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	5	2	7	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	5	8	3	0	16

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 医療との連携、訪問看護導入、福祉用具の調達を通し、担当者会を開催。 認知症リハビリの勉強会の参加。 救急時の対応。応急処置の講習に参加。 近所の子供たちがすすんで遊びに来てくれる。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 昼間の勉強会にはごく一部の職員のみ参加。勤務の都合で参加が難しいこともある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 勤務体制によるものが大きいと思われる。 出来る範囲での参加を目指す。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

7. 運営

出席
メンバー 秋山・尾藤・森實・大西佐・大西香・由藤・佐藤
吉岡・矢野・石川眞・守谷・三好・兵藤・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	4人	3人	11人

前回の改善計画	同施設内での調整、近隣住民への案内を積極的に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	同施設内での調整はまだまだと思われるが、イベント開催時にはポスターを配布し、周知に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	8	5	3	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	11	1	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	5	4	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	6	3	6	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること イベント参加に向け、内容の検討会を開催。各方面に文化作品展の案内状を持参。 運営推進会議では HITO 病院のリハケア勉強会をシリーズ化し実施。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ミニ特養とは毎月行われる、全体職員会にとどまっている。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 運営推進会議の参加を家族、介護者に呼びかけているが日程、時間調整がつかないため参加者が限られてしまっているのではないかとと思う。 運営推進会議で報告のみに終わるのではなく、研修会等を企画し内容を工夫する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

出席メンバー 秋山・尾藤・森實・大西佐・大西香・由藤・佐藤
吉岡・矢野・石川眞・守谷・三好・兵藤・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	4人	11人

前回の改善計画	他職種との交流が持てる機会に積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	年間の研修予定にのっとり、職員が全員参加できる様あらかじめ予定を立てている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	8	1	2	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	3	5	3	16
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	4	9	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	7	2	2	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内外の研修に参加。 自身の質の向上の為、自主的に研修に参加。 委員会、職員会でリスクマネジメントに対し、検討会を開催。情報を共有することで次の支援へと繋げている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 参加希望があっても勤務の都合や人数制限により参加できない事がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 参加努力はしているが、全員の参加は家庭の事情や時間で参加できていない。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 10 月 31 日 (19 : 00 ~20 : 30)

9. 人権・プライバシー

参加メンバー 秋山・尾藤・森實・大西佐・大西香・由藤・佐藤
吉岡・矢野・石川眞・守谷・三好・兵藤・高橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	3人	3人	2人	11人

前回の改善計画	成年後見制度について内容を理解できるよう、勉強会で学習する。
前回の改善計画に対する取組み結果	現在成年後見制度を必要とする人がいないか、職員会において勉強会を開催。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	11	5	0	0	16
② 虐待は行われていない	12	3	0	0	15
③ プライバシーが守られている	8	8	0	0	16
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	4	6	10
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	10	3	1	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 歩行不安定な方に対し、転倒予防の為にセンサーマット使用。(家族了承済) ベッド柵にカバー、車イスフットレストにもカバーを取り付け、ケガの防止に努めている。 トイレ、入浴時にはプライバシーに配慮した対応を行っている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 現在成年後見制度を必要とする利用者がいない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 成年後見制度を必要としない。
---------------	-----------------------------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人愛美会	代表者	石川 繁一	法人・事業所の 特徴	四国中央市唯一の小規模多機能型居宅介護事業所である特別養護老人ホームが併設された複合施設で地元の利用者が多く、地域の方々とも恒例行事を通し交流を図っている。理念である「ゆっくり・一緒に・楽しく」に添った支援を行っている。また生活リハビリによる身体機能の維持に努め、ライフサポートプランを活用し利用者の生活史を踏まえた支援となる様、個々の関わり合いを深めている。職員は研修参加や資格取得に前向きに取り組んでいる。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所 山田井の郷	管理者	秋山 操		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	7人	0人	2人	0人	0人	3人	3人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	利用者個々の地域での関わり合いを理解する上で、その方を取り巻く地域資源マップを作成し、環境を把握する。	地域資源マップ作成にあたり、担当職員による利用者、家族から情報収集を行い作成されている。	職員全員が自己評価に取り組んでいるという項目内容に未記入の者もいる。内容を各自把握する必要がある。	各自自己評価を行う前に内容の読み込みを行い、内容を理解した上で取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境			事業所は2Fにあり、ベランダに出ると日当たりが良く気持ちが良い。室内は掃除が行き届き、清潔感がある。壁には利用者と一緒に作成した壁飾りがあり、季節感を感じゆったりと落ち着ける。	
C. 事業所と地域のかかわり			併設の特別養護老人ホームと合同で夏祭りを開催。準備の段階から地域住民の方々に協力を得ている。又文化作品展を開催し写真を展示。日頃の取組みを紹介している。	地域の方々イベント行事を通し、交流する機会を持ち、その中で親睦を深めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			地域住民の方の協力により門松作り、そうめん流しの準備と交流を深めているが、高齢化により参加者が限られてしまう傾向にある。	既存の行事に関してはこれからも出来る範囲で参加。クローケーや手芸教室、サロンに参加する等利用者個々が地域の方々との交流できるようサポートしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			運営推進会議で行われている事業所報告や地域の方々の協力を得て実施する行事に関しては事前に話し合いの場を持っている。参加メンバーの地域での役割を生かした取組みが必要。	地域の方々が気軽に寄れる場として、又会合の集会場所としてホールを利用して頂ける様、働きかけていく。
F. 事業所の防災・災害対策			事業所の防災内容については訓練を基に意識の徹底を図っている。	今後も、避難場所の再確認と災害時の対応の仕方を勉強会でを行い、職員間で意識統一を図る。